

2020年度（令和2年度）事業報告書

（2020年4月1日から2021年3月31日まで）

法人の名称 NPO法人セカンドワーク協会

1 事業の成果

2019年8月14日にNPO法人セカンドワーク協会を設立した。2回目の事業報告を行う。

2020年度収入は1,270,457円で、このうち事業収入538,704円、会費収入は631,750円であった。支出は853,256円である。当期正味財産増額は417,201円であった。

セミナー開催などの広報活動等により会員数は増え、2020年度末現在で37名である。協会運営のコアとなるGM会議を11回、理事会を4回開催した。そして、協会の運営文書体系や共有資産管理用システムも整備しつつある。

シニア世代と現役世代による多世代コミュニティを構築し、「Web制作」等に関する事業を通じて「仲間との出会いの場」「学びと成長の場」「実務の実践の場」を提供し、職業能力の開発に寄与するという目的に対し、一定の成果があったと判断する。

1月には、昨年度に続き茅ヶ崎市の「市民活動げんき基金補助事業」の申請を行った。

事業名称：～市民活動団体にIT伴走する～「Webサポーター育成事業」
採択されれば、市民活動団体様より推薦をいただいた方々向けのセミナーを行い、6件程度の市民活動団体のWeb制作を支援したい。

2021年度は、より高い目標を設定し、組織力（特にWeb制作に関する総合力）の向上のための具体的施策を実行していきたい。

2 事業内容

2020年度は「デジタルマーケティング教育事業」として、公開セミナー11回、Webマーケティング勉強会12回、Web制作勉強会10回を開催した。

勉強会については、当初よりオンライン参加も可能としていたため、新型コロナウイルスの蔓延による「3密回避要請」に対しても、完全オンライン化のイベントとし、当初日程通りの開催が実現できている。

茅ヶ崎市「市民活動げんき基金補助事業」の「スタート支援」に評価2位で採択された。

事業名称：～市民活動団体にIT伴走する～「Web制作のシニアリーダー育成事業」
市民活動団体からITリテラシーのある方々を推薦いただき、5団体8名の受講生の参加を得て10月より計6回のセミナーを実施した。その結果、4つの市民活動に関するWebサイトを公開し、1つのWebサイトの将来構想案策定に寄与することができた。受講生8名中7名が当協会に入会され、さらに支援を継続中。

「Web・アプリソフト・広報物・広告の制作・運用・保守事業」として、茅ヶ崎の防災情報を提供する「マザーアース茅ヶ崎」様サイトの2次公開と、「(一社)4Hearts」様サイト、「ちゅうりっぷ保育室」様サイトの公開を完了した。また運用・保守事業を継続している。またWeb制作のベース技術である「WordPress標準プラットフォーム」や「自治会サンプルサイト」を形にした。

詳細は別表に示す。

別表 2020年度（令和2年度）事業一覧表

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者人数	受益対象者	収入額 (円)	支出額 (円)
Web・アプリソフト ・広報物・広告の 制作・運用・保守 事業	市民活動団体・ NPOのための Web制作	通年	茅ヶ崎	4名	市民	349,096	354,950
デジタル マーケティング 教育事業	デジタル マーケティング セミナー開催	通年	茅ヶ崎	5名	市民	133,870	194,980
デジタル マーケティング 教育事業	茅ヶ崎市 げんき基金事業	8月 ～ 2月	茅ヶ崎	7名	市民	85,738 ※1	87,990

※1「茅ヶ崎市 市民活動げんき基金補助事業」の補助金 30,000 円を含む。